

普通寺市長 様

申込者 住所

(方)

第1希望住宅
第2希望住宅

団地 DK
団地 DK

氏名

㊞

電話

市営住宅入居申込書

次のとおり市営住宅に入居したいので、承認されるよう申請します。

また、この申請書及び添付書類に虚偽がある場合は、申請を無効とされても異議を申し立てません。

また、この申請書及び添付書類の内容の真偽について、市長が調査することに同意します。

記

※太枠内は、記入しないでください。

	氏名	続柄	生年月日	年齢	職業及び勤務先	年間所得 (円)	本人該当事項			世帯状況			
							特障	普障	同居	別居	老人扶養	特定扶養	
入居者及び既存同居者		本人				円			■	■	■	■	
						円			■				
						円			■				
						円			■				
						円			■				
別居親族扶養						■			■				
						■			■				
記載上の注意					世帯総所得額(a)		一人につき27万円以下で控除対象者の年間所得以下	× 40万 円	× 27万 円	× 38万 円	× 38万 円	× 10万 円	× 25万 円
	1 申込みについての注意												
	(1) 申込みは、1世帯1通で、市営住宅1戸限りです。												
	(2) 申込書の記載事項に誤りがあるとき、又は調査の結果入居資格が無いときは、全て無効になります。												
2 記入についての注意													
(1) ペンで分かりやすく書き、押印を忘れないようにしてください。													
(2) 『入居者及び既存同居者』と『別居扶養親族』欄には承認済の者を記入してください。													
(3) 18歳以上で現在無職の方は、上の『職業及び勤務先』欄に、次の項目を参考にして、該当する番号、記号及び内容を記入してください。													
① 非課税所得の場合……ア 遺族年金 イ 障害年金 ウ その他()													
② 扶養を受けている場合……扶養者の住所、氏名、続柄													
(4) ■内は、記入の必要がありません。													
2 添付書類													
(1) 住民票の写し（入居者及び同居する親族全員）													
(2) 市町村の発行する、18歳以上の世帯員全員の所得証明書及び納税証明書													
(3) 障害者（1～6級）の方は、障害者手帳のコピー													
(4) その他市長が指示する書類													
控除額合計(b)								円					
収入月額 (a)-(b) =								円					
								12					

※裏面も忘れずに記入してください。

(裏)

※太枠内は、記入しないでください。

1 現在の居住状況 (該当する事項の番号を○で囲み、必要な数値を記入してください。)		調査結果	評点
(1)自家 (2)借家 (3)間借り (4)公社・社宅 (5)寮 (6)アパート (7)その他 ()			
延床面積 _____㎡ 畳数____畳 室数____室 家賃月額_____円			
2 住宅の困窮状況 (該当する事項の番号を○で囲んでください。※複数回答可) 該当する事項を証明する書類を提出してください。		※同一項目で2以上ある場合は、代表的な1理由のみとする	
不良建物	1 極度に老朽し、倒壊の恐れがあり、保安上注意されている建物又は著しく不衛生な非住宅若しくは仮小屋に居住している。		
	2 極度に老朽している建物に居住している。		
	3 不完全な転用住宅に居住している。		
	4 応急の住宅に居住している。		
不完全設備	5 給排水設備が不完全で不衛生なものを使用している。		
	6 間借り等で台所、便所及び給水施設を共同使用している。		
	7 間借り等で台所、便所及び給水施設のうちいずれか1つの施設を共同使用している。		
過密居住	8 居住している部屋の広さが一人当たり2畳以下で、衛生上又は風教上不適當である。		
	9 居住している部屋の広さが一人当たり4畳以下で、衛生上又は風教上不適當である。		
	10 居住している部屋が1室のため、風教上不適當である。		
間借り	11 親又は妻子と別居している状態が、1年以上経過している。		
	12 上記の状態が、1年未満である。		
	13 扶養すべき親族と別居している。		
	14 間借り(雑居を含む。)により苦痛を受けている。		
立退要求	15 法令に基づいて立退きの要求を受けている。		
	16 会社等の住宅に居住し、名義人の死亡又は退職等により立退きの要求を受けている。		
	17 立退きを求められ、極度の紛争に陥っている。		
住宅費過大	18 正当な理由による通例一般的な立退きの要求を受けている。		
	19 毎月の家賃が月収の50%以上である。		
	20 毎月の家賃が月収の40%以上である。		
特殊事情	21 毎月の家賃が月収の30%以上である。		
	22 1室を必要とする長期療養患者がおり、居住環境が悪い。		
	23 夫婦と満18歳以上の者が、同室に起居している。		
その他	24 婚約が成立しているが住宅がないため、結婚できないで困っている。		
	25 世帯構成員に福祉施設へ通学し、又は勤務するものがある。		
加算	(1)母子世帯 (2)老人世帯 (3)心身障害者世帯(級) (4)多子世帯 (5)被生活保護世帯		
3 市税の納付状況 (該当する事項の番号を○で囲み、内容を記入してください。)		合計	
(1)完納 (2)未納() (3)非課税			
4 市営住宅への過去の入居状況 (該当する事項の番号を○で囲み、内容を記入してください。)			
(1)入居なし (2)入居あり(入居状況)			
5 その他調査員(氏名)の意見			